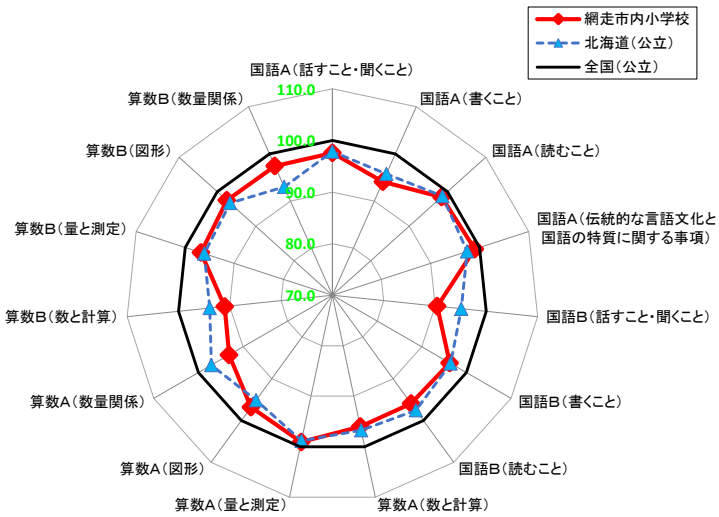
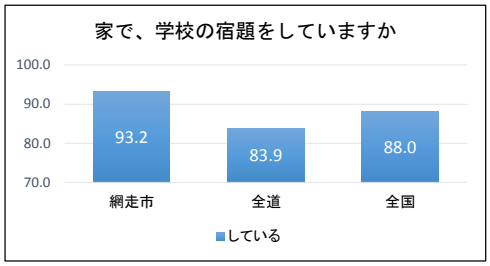
■網走市内小学校の状況及び学力向上策（学校数：9、児童数：278名）

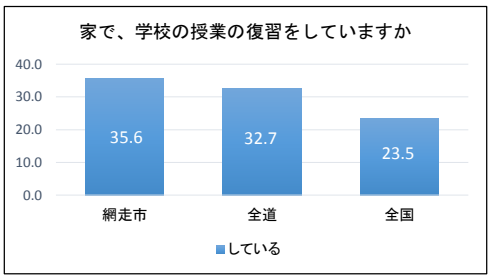
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

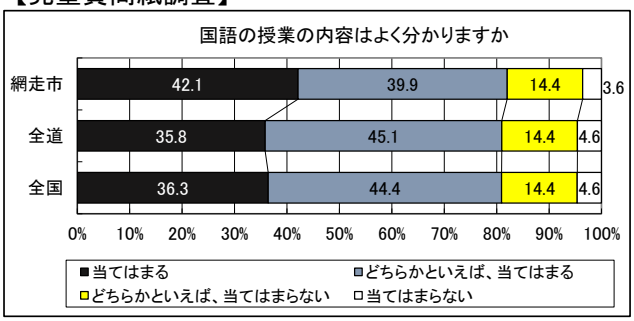


【児童質問紙調査】

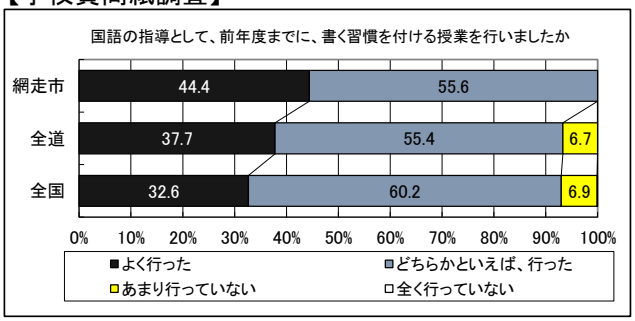




【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教　　科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全道を上回り、全国とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で、全国とほぼ同様になっており、「図形」で、全道を上回っている。	○ 国語科において、書く習慣を付ける授業に取り組み、基礎的・基本的な事項の定着を図ったことにより、A問題の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率が高くなるとともに、「国語の授業内容はよく分かる」と回答した児童の割合が高い結果になったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習について、きめ細かな評価・指導を行ったことにより、児童は家で学校の宿題や復習に取り組み、基礎的・基本的な事項の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

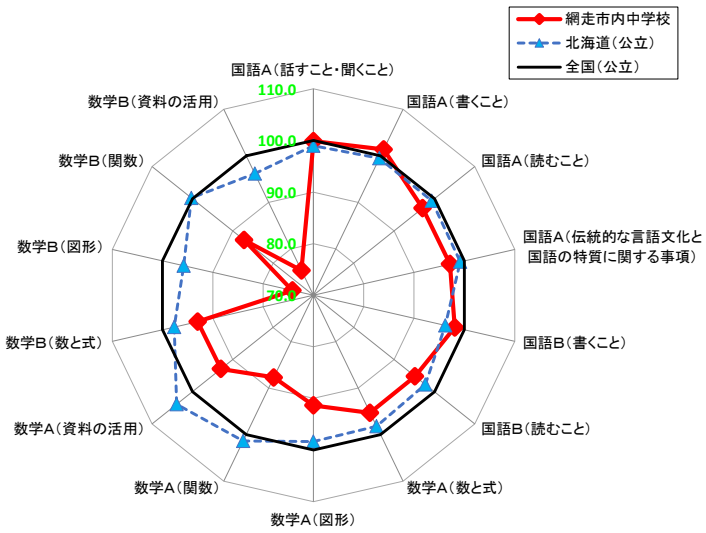
【網走市の学力向上策】

◎　市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
◎　基礎・基本の定着に向けた算数科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
◎　家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
◎　「書くこと」の課題解決に向け、自分の考えを文章で表現する機会として市読書感想文コンクールの実施

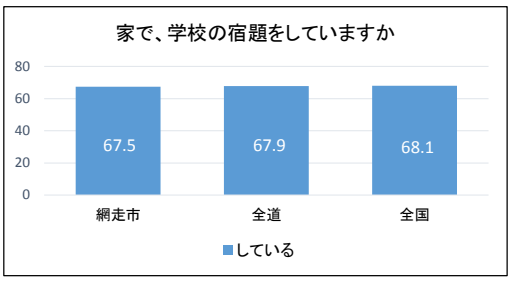
■網走市内中学校の状況及び学力向上策（学校数：6、生徒数：314名）

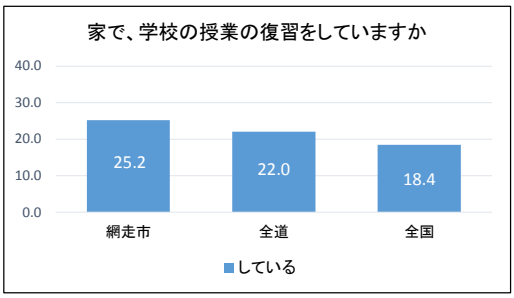
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

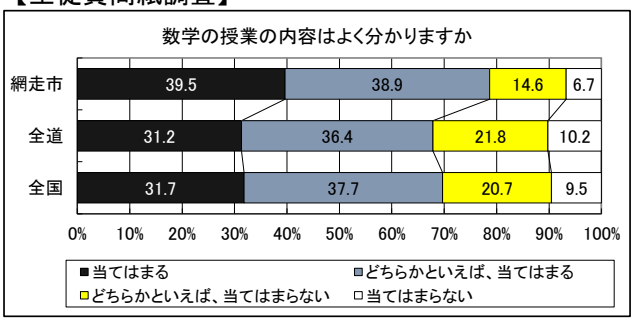


【生徒質問紙調査】

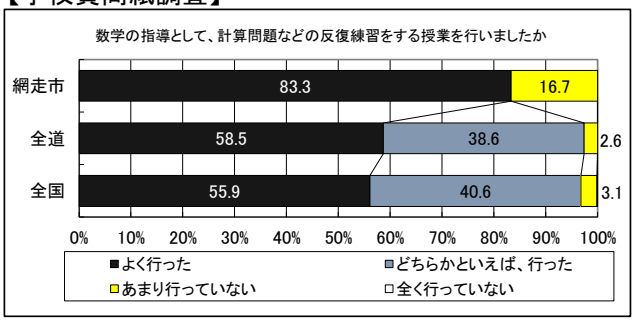




【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教　　科	○ 国語Aでは、「書くこと」で、全国を上回り、「話すこと・聞くこと」で、全道を上回っている。 ○ 数学A・Bのすべての領域で、全国及び全道を下回っている。	○ 数学科において、計算問題など基礎的・基本的な事項を定着させる授業に取り組んだことにより、「数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対する生徒の割合が全国及び全道より高くなるとともに、A問題をはじめとする基礎的・基本的な知識・技能の習得につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で学校の宿題を行っている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道とほぼ同様になっている。 ○ 「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 家庭学習の課題（宿題）を与えることを習慣付けたことにより、家で宿題や復習をする生徒の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【網走市の学力向上策】

◎　市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
◎　基礎・基本の定着に向けた数学科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
◎　家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
◎　「書くこと」の課題解決に向け、自分の考えを文章で表現する機会として市読書感想文コンクールの実施